

開拓精神 1

糖尿病の患者さんである鈴木さんは、いろいろな合併症を抱えています。そのひとつが糖尿病神経障害です。靴を履くと足の裏が痛い、デコボコする、ビー玉を貼ったようだなど、いろいろな症状があります。この足の裏の違和感に対する有効な治療法は現在ありません。

今から5年前に開催された糖尿病の研究会で、横浜市に3人のオートペディがいると友人の医師より聞きました。オートペディというのはフットアドバイザーで、靴で悩んでいる人や、足のトラブルのある人に対して、足と靴に関してカウンセリングする人です。まだ日本ではなじみの薄い職業ですが、きっと仙台にも何人かいるはずだと助言されました。私も知人の靴屋さんなどに当たりましたが、そんな人は仙台にはいないという返事でした。それで足に神経障害を持つ何人かの患者さんに、オートペディを探してくるようお願いしました。

すると約1年後のある日の外来のことです。鈴木さんが「先生、探していた人見つけたよ」と言って診察室に入ってきたのです。しかも、鈴木さんはその人の腕を確かめるために自分の足をモデルに靴を作製し、何か月もかけて自分の足に合うように調整してもらい、このオートペディには確かな技術があることを確認してから私

に紹介してくれたのでした。「あの目に間違いはない、あの人は本物だよ」とその人の店に通い続けたのです。

その人は大野晋平さんと言って、私の探していたオートペディでした。糖尿病の神経障害による足の症状やその他リウマチによる足、外反母趾、胼胝（タコ）などによる種々の足の違和感は、大野さんの靴を履くと改善する人が多く好評です。現在、私たちは靴屋さんで靴に足を合わせて買いますが、オートペディは足に合わせた靴や中敷きを処方して、作製してくれます。もちろん、作製した靴の方には限界があり、モデルの履いているような細い靴を作れといっても無理です。このように足に影響が出てくる方には、有効な治療法がない現在、オートペディの手によって作成された靴は、QOL（Quality Of Life：生活の質）を向上させるとても有効な手段の一つになっています。すでに私は何十人も糖尿病による足病変の人や、外反母趾の人に大野さんを紹介しています。現在では、宮城県内にオートペディは大野さんを含めて3人いることがわかりました。

患者さんの中には、開拓者精神を持って医療側で求めている人物や、場所を探してくる名人がたくさんいます。次号では私が頼んだ別のことを探してきた名人をご紹介します。